

第15回 日本末梢神経学会学術集会 プログラム・抄録

特別講演 「交感神経活動と痛みー神経損傷モデルの教えたもの」
水村 和枝 名古屋大学環境医学研究所

シンポジウム 末梢神経・脊髄再生へのアプローチの最前線

産業医学講座 「振動障害の末梢神経機能評価法について」
榊原 久孝 名古屋大学医学部保健学科

ブレックファストセミナー 「CRPS の診断基準をめぐる混乱」
柴田 政彦 大阪大学大学院医学系研究科生体機能調節医学講座

ランチョンセミナー 「脊髄神経の投射路形成」
志賀 隆 筑波大学大学院人間総合科学研究科基礎医学系解剖学

イブニングセミナー
1 「末梢神経外科におけるCAT活性測定の有用性」
矢島 弘嗣 奈良県立医科大学整形外科
2 「末梢神経の病理」
額田 均 オタゴ大学医学部内科

The XV Annual Meeting of Japanese Peripheral Nerve Society

会期：2004年8月27日（金）、28日（土）
会場：つくば国際会議場 エポカルつくば

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3
Tel: 029-861-0001、URL: www.epochal.or.jp

学術集会会長 落合 直之

筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床医学系整形外科

第15回 日本末梢神経学会学術集会開催にあたって

学術集会会長 落合直之

この度、第15回日本末梢神経学会をつくば市で開催できますことを大変光栄に存じます。筑波大学もこの地に移り30年が過ぎました。町並みにもぎわいを見せ、周囲にある多数の公立私立研究所、さらに堂々たるエポカル国際会議場も数年前に出来上がり、つくば市は名実ともに研究学園都市ということができましよう。

本学会は、昨年、井上前会長の御英断で2日間となりました。余裕のあるディスカッションと一つの会場での全員参加をモットーとする本会の特色を継続すべく、今回も延べ2日間と致しました。おかげさまで、応募演題も30題をこえ、7つのセッションで十分討論して頂ければ幸いです。

さて、神経疾患を扱う中で、疼痛は常に愁訴の多くを占めるやっかいなものです。末梢神経損傷と交感神経系の関わりに焦点を当て、水村和枝先生に特別講演「交感神経活動と痛みー神経損傷モデルの教えたもの」をお願いしました。また、これに関連して、ブレックファストセミナー（朝食付き）として柴田政彦先生に反射性交感神経性ジストロフィーの診断に関して「CRPSの診断基準をめぐる混乱」をお願いしました。これは、矢島弘嗣先生と額田均先生にそれぞれお願いした「末梢神経外科におけるCAT活性測定的应用」、「末梢神経の病理について」からなるイブニングセミナーとあわせ、昨年の評議員会での研修的意味合いのものをというご要望に応えたつもりです。

志賀隆先生のランチョンセミナー「発生過程における脊髄神経の投射路形成」で発生過程における分子生物学の発展を垣間見た後に、シンポジウムで末梢神経・脊髄再生へのアプローチの最前線を聞かれれば、基礎と臨床の最前線を把握できるかと思います。また、産業医学講座は、榊原久孝先生に「振動障害の末梢神経機能評価法について」をお願いしました。

市内から間近に関東平野の象徴とも言うべき筑波山があります。晴れていれば、中腹の筑波山神社付近からでも東京の高層ビルや富士山が遠望できます。また、温泉もございますので、学会でお疲れの際は、足をのばすのも一興かと存じます。

2日間にわたる本学会が、皆様にとって有意義な時間となることを祈念してご挨拶とさせていただきます。

日 程 表

8月27日(金)

無印は 中ホール 200 (2 F)

*印は 中会議室 202 (2 F)

| | |
|-------|---|
| 13:00 | 開会挨拶 |
| 13:10 | 一般演題 I (神経炎1) 座長: 矢崎俊二 |
| 13:50 | 一般演題 II (基礎的研究) 座長: 光嶋 勲 |
| 14:40 | 休憩 |
| 14:50 | 特別講演 「交感神経活動と痛み」 — 神経損傷モデルの教えたもの 水村和枝 司会: 祖父江逸郎 |
| 15:50 | 一般演題 III (手根管症候群) 座長: 加藤博之 |
| 16:40 | 評議員会* |
| 17:00 | イブニングセミナー 「末梢神経外科におけるCAT活性測定応用」 矢島弘嗣 「末梢神経の病理について」 額田 均 司会: 持尾聡一郎 岡島誠一郎 |
| 18:30 | |
| 18:40 | 懇親会* |

8月28日(土)

| | |
|-------|---|
| 8:00 | ブレックファストセミナー* 「CRPSの診断基準をめぐる混乱」 柴田政彦 司会: 梁瀬義章 |
| 9:00 | 休憩 |
| 9:10 | 一般演題 IV (糖尿病性末梢神経障害) 座長: 廣瀬源二郎 |
| 9:50 | 産業医学講座 「振動障害の末梢神経機能評価法について」 榊原久孝 司会: 祖父江元 |
| 10:20 | 休憩 |
| 10:30 | 一般演題 V (神経再生の基礎的研究) 座長: 池田和夫 |
| 11:20 | 総会 |
| 11:40 | 休憩 |
| 12:00 | ランチョンセミナー* 「発生過程における脊髄神経の投射路形成」 志賀 隆 司会: 永田 博司 |
| 13:00 | 一般演題 VI (神経炎2) 座長: 大越教夫 |
| 13:40 | 一般演題 VII (末梢神経の手術と予後) 座長: 三浪明男 |
| 14:30 | 休憩 |
| 14:40 | シンポジウム 末梢神経・脊髄再生へのアプローチの最前線 司会: 長野 昭 西浦康正 |
| 16:40 | 閉会挨拶 |

企画プログラム

特別講演 8月27日(金) 14:50～15:50 中ホール 200

交感神経活動と痛みー神経損傷モデルの教えたものー

水村 和枝 名古屋大学環境医学研究所 器官系機能調節部門・神経性調節分野

司会：祖父江逸郎

イブニングセミナー 8月27日(金) 17:00～18:30 中ホール 200

1) 末梢神経外科における CAT 活性測定的应用ーその基礎と臨床についてー

矢島 弘嗣 奈良県立医科大学整形外科

2) 末梢神経の病理ー神経生検から糖尿病や虚血の病理までー

額田 均 オタゴ大学医学部内科、ダニーディン病院神経内科

司会：持尾聰一郎、岡島誠一郎

ブレックファストセミナー 8月28日(土) 8:00～9:00 中会議室 202

CRPS の診断基準をめぐる混乱

柴田 政彦 大阪大学大学院医学系研究科生体機能調節医学講座

司会：梁瀬 義章

産業医学講座 8月28日(土) 9:50～10:20 中ホール 200

振動障害の末梢神経機能評価法について

榊原 久孝 名古屋大学医学部保健学科

司会：祖父江 元

ランチオンセミナー 8月28日(土) 12:00～13:00 中会議室 202

発生過程における脊髄神経の投射路形成

志賀 隆 筑波大学大学院人間総合科学研究科 基礎医学系解剖学

司会：永田 博司

シンポジウム 8月28日(土) 14:40～16:40 中ホール 200

末梢神経・脊髄再生へのアプローチの最前線

司会：長野 昭、西浦 康正

1) 末梢神経と骨格筋に対する医工学、再生医学

平田 仁 三重大学医学部整形外科学教室

2) 中枢神経、末梢神経の再生に関する人工マトリクス、培養細胞を用いたアプローチ

鈴木 義久 京都大学大学院医学研究科形成外科

3) Polyglycolic α -acid collagen tube を用いた末梢神経損傷に対する生体内再生治療

末梢神経欠損から神経因性疼痛、Complex Regional Pain Syndrome type II へ

稲田 有史 稲田病院整形外科、京都大学再生医科学研究所臓器再建応用分野

4) 脊髄を中心とした神経系の再生医学

岡野 栄之 慶應義塾大学医学部生理学教室、CREST、JST

一般演題

8月27日(金)

一般演題Ⅰ 神経炎1

13:10~13:50 座長 矢崎 俊二 聖マリアンナ医科大学内科

1. 遺伝性運動感覚ニューロパチー (HMSN1a) と慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー (CIDP) の合併が疑われた3例
兵庫県立姫路循環器病センター神経内科 喜多也寸志
2. 慢性炎症性多発ニューロパチーに見られる振戦の発現機序の検討
茨城県立医療大学付属病院神経内科 小國 英一
3. Sjögren 症候群に伴う末梢神経障害に対するインターフェロン α の効果
名古屋大学神経内科 山田 新一
4. 顔面神経麻痺後遺症の評価法
帝京大学医学部リハビリテーション科 栢森 良二

一般演題Ⅱ 基礎的研究

13:50~14:40 座長 光嶋 勲 東京大学形成外科

5. 末梢神経損傷時における HIF-1 α の発現動態
大阪市立大学大学院医学研究科機能細胞形態学 蒲生 和重
6. 末梢神経系における NCAM および DEAD-box タンパクの発現
東京都立清瀬小児病院整形外科 斎藤 治和
7. 末梢神経緩徐伸張による神経損傷および回復過程におけるナトリウムチャネルの動態
筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床医学系整形外科 市村 晴充
8. 麻酔下ラット坐骨神経表層の微小循環生体顕微鏡観察方法の確立とその評価
信州大学医学部器官制御生理学 和田 典子
9. 腰部神経根絞扼モデルラットにおける交感神経の役割
釧路赤十字病院整形外科 竹林 庸雄

一般演題Ⅲ 手根管症候群

15:50~16:40 座長 加藤 博之 信州大学整形外科

10. 手根管症候群と頸椎病変との関係について
星ヶ丘厚生年金病院整形外科 河井 秀夫
11. 手根管症候群に対する MR neurography の試み
防衛医科大学整形外科 有野 浩司
12. 高齢者手根管症候群に母指対立再建術は必要か
駿河台日本大学病院整形外科 長尾 聡哉
13. 若年女性の多発性骨髄腫に起因するアミロイドーシスによる両側手根管症候群の一例
河北総合病院整形外科 佐谷 隆洋
14. 手根管症候群発症透析患者の全身予後の検討
大野記念病院整形外科 姜 良勲

8月28日(土)

一般演題Ⅳ 糖尿病性末梢神経障害

9:10~9:50 座長 廣瀬源二郎 金沢医科大学神経内科

15. 高血糖による軸索興奮性の変化:(1) 一過性Naコンダクタンス
千葉大学神経内科 桑原 聡
16. 高血糖による軸索興奮性の変化:(2) 持続性Naコンダクタンス
千葉大学神経内科 三澤 園子
17. 糖尿病性ニューロパチーの進行に伴う運動単位推定数(MUNE)の変化
横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター安全管理室 長谷川 修
18. 実験的糖尿病モデルでの末梢神経障害時における神経栄養因子の免疫組織学的検討
茨城県立中央病院神経内科 原田 勝利

一般演題Ⅴ 神経再生の基礎的研究

10:30~11:20 座長 池田 和夫 金沢大学整形外科

19. 末梢神経におけるガレクチン-1の発現と機能
東京都神経科学総合研究所 三五 一憲
20. ラミニンペプチドを共有結合させたアパタイトコーティング・キトサンチューブの神経再生促進効果
東京医科歯科大学疾患遺伝子実験センター 伊藤聡一郎
21. ハイブリッド型人工神経における Schwann 細胞の役割
慶應義塾大学整形外科学教室 池田 崇
22. 近位断端直接緩徐伸長による末梢神経欠損部修復に関する実験的研究
筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床医学系整形外科 Saijilafu
23. 末梢神経 bypass 移植術の再生軸索の起源についての検討
関西医科大学整形外科 谷川 暢之

一般演題Ⅵ 神経炎 2

13:00~13:40 座長 大越 教夫 筑波大学神経内科

24. Multiple cranial neuropathy を合併し抗 LM1抗体陽性を示した ANCA 関連血管炎の1例
富山県高志リハビリテーション病院神経内科 井上 雄吉
25. Crow-Fukase 症候群における VEGF 関連蛋白の発現に関する組織学的検討
康生会武田病院神経脳血管センター 川崎 照晃
26. CIDP の病態にかかわる遺伝子的背景
名古屋大学神経内科遺伝性ニューロパチー研究班 飯島 正博
27. ハント症候群における副神経麻痺
帝京大学医学部リハビリテーション科 栢森 良二

一般演題Ⅶ 末梢神経の手術と予後

13:40～14:30 座長 三浪 明男 北海道大学整形外科

28. 核出可能であった神経線維腫症例の検討
金沢大学整形外科 橋本 典之
29. 再発神経鞘腫切除例における端側吻合を用いた機能再建
関西医科大学附属男山病院整形外科 斉藤 貴徳
30. 慢性神経障害の障害度分類－肘部管症候群の神経伝導検査と手術成績から－
清恵会病院整形外科マイクロサージャリーセンター 山野 慶樹
31. 長期血液透析例における手根管圧からみた手根管症候群の予後
おくつ整形外科クリニック 浜中 一輝
32. 絞扼性末梢神経障害の再手術例の検討
北里大学医学部脳神経外科 橋 滋國